

GREEN RADER



A-Policy【重点事業方針】

生産販売部 米穀課の取組み

A-Reports

- ・2024なんしんフラワーフェア 02
- ・～進化する農業 次世代につなげよう！～
「JA農機&資材フェスタ2024」盛況 03
- ・名古屋で「南佐久高原野菜フェア」 05
- ・7月2日は「夏の長野県産レタスの日」約130店舗で宣伝会 05
- ・長野県内産地合同でカーネーションのPRを実施 06
- ・豊洲市場でJAグリーン長野とJA中野市の合同トップセールスを開催
..... 07
- ・大学生協で食育ランチ 07

A-Board

- ・第54回 信州フラワーショー サマーセレクション 08
- ・長野県産野菜ときのかキャンペーン第2弾
「長野県産野菜・きのか 秋の“飽き”ないレシピ」総選挙 08
- ・新採用職員紹介 09
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・9月のテレビ・ラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

米穀課

生産販売部 米穀課の取組み

「令和6年度米穀課事業推進方針」

1. 令和6年度米生産・集荷推進

- (1) J A別集荷目標数量を設定し、J Aと一体となった集荷数量の積上げ推進
- (2) 関係機関と連携した需要に応じた品目への生産誘導

2. 令和6年度米販売推進

- (1) 長野米販売計画に基づく生産誘導と実需者の見える取引の強化（長野米需要量：75,000トン）
- (2) 事前契約の積み上げと複数年契約の拡大（複数年契約目標：35,000トン）
- (3) 実需・卸との連携強化による新米推進・早期販売と販売経費抑制
- (4) 酒造好適米の計画生産と清酒の消費拡大推進
- (5) 産地一体となった「こだわり米」推進と穀類食味ランキングでのコシヒカリ全地区「特A」獲得
- (6) 県内を主体とした「長野米」消費宣伝活動の実施
- (7) 重点卸と連携した長野米輸出の継続

（目標：1,000トン）

- (8) フレコン比率の向上（目標：70%）と紙袋のパレット輸送の推進（目標：流通量5,500枚）

3. 長野米生産・品質向上・安全安心への取り組み

- (1) 業務用適性米生産に向けた多収栽培試験の実施、販売先と連携した検証
- (2) HACCP施行に対応した米穀集荷保管施設の衛生管理向上の取り組み推進
- (3) 農産物検査室による品質分析と生産販売への有効活用、スマートオコメチェーンの研究
- (4) 残留農薬・DNA・DONの適正な自主検査とコムギ赤かび病対策
- (5) 環境負荷低減米穀への対応（秋耕等の生産段階＋輸送段階）

4. 生産基盤安定化への対応

- (1) 県本部米穀事業基盤強化奨励の有効活用（集荷・基盤強化・人材育成・施設衛生向上・種子場支援）

- (2) 長野県主要農作物種子生産ビジョンに基づく種子場再編計画に向けた支援
- (3) 米穀施設のJ A間共同利用の推進
- (4) 農産物検査業務
- (5) J A検査員の技術向上指導・育成支援
- (6) 国の動向を踏まえた今後のJ A長野県農産物検査協議会あり方の協議

5. 麦・大豆・そば

- (1) 小麦：実需者の求める品種の増産と安定した品質および反収の確保
- (2) 大麦：需給に応じた生産と適期収穫の励行
- (3) 大豆：ナカセンナリを主体とした集荷数量確保、需要に応じた品種構成の検討
- (4) そば：県内安定取引先への推進、収穫前を含む早期の契約締結



コムギ赤かび病対策のドローン防除



生産者参加の試食宣伝会



量販店バイヤーと店舗チーフとの田植え交流会



レンタルパレットによる手荷役軽減輸送

2024なんしんフラワーフェア入賞者名簿（敬称略）

		品 目 名	品 種 名	氏 名	J A 名
関東農政局長賞	1点	アルストロメリア	ワンダースイート	小池 潤	信州諏訪
長野県知事賞	2点	輪ギク	スーパーイエロー	三井 静明	信州諏訪
		アルストロメリア	レフコス	唐澤 勲	上伊那
長野県農協中央会長賞	2点	ダリア	ホワイトヴェール	大平 篤史	みなみ信州
		スタンダードカーネーション	フレグランス	星野 仁志	信州諏訪
全農長野県本部長賞	2点	トルコギキョウ	ボヤージュ2型ライトピンク	平出 章彦	信州諏訪
		アルストロメリア	トンプス	中原 睦男	上伊那
長野県地域振興局長賞	3点	ディスパッドマム	カリンパロージー	田中 学	信州諏訪
		アルストロメリア	ルミナス	丸田 修央	上伊那
		ほおずき	ほおずき	工藤 信子	みなみ信州
JA南信地区協議会長賞	2点	スタンダードカーネーション	アスペン	小池 直志	信州諏訪
		アルストロメリア	ライムライト	篠原 俊	信州諏訪
農業協同組合長賞	3点	スターチス一年生	パールブルー	井上 俊哉	信州諏訪
		アルストロメリア	ピンクティアラ	倉田 良作	上伊那
		ダリア	黒蝶	田中 佑樹	みなみ信州
長野県農協中央会営農農政部長賞	2点	鉄砲ユリ	凜花	末永 千秋	上伊那
		アルストロメリア	ジェイド	半田 航志	信州諏訪
全農長野県本部事業所長賞	2点	アルストロメリア	エデン	矢沢 光洋	信州諏訪
		アナベル	オータムグリーン	関島 伸喜	みなみ信州
長野県生花商業組合理事長賞	1点	アルストロメリア	ハニーソフィア	有限会社 未広農園	上伊那
東京地区長野県花き推進協議会長賞	1点	トルコギキョウ	プリマラベンダー	両角 哲雄	信州諏訪
中部圏信州花き販売推進協議会長賞	1点	アルストロメリア	ミストラル	酒井 弘道	上伊那
京阪神地区信州花き推進協議会長賞	1点	リンドウ	パステルラブ	金子 利美	信州諏訪
なんしんフラワーフェア推進協議会長賞	4点	輪ギク	スーパーイエロー	迎 弘樹	信州諏訪
		アルストロメリア	ハニーソフィア	有賀 美和	上伊那
		アルストロメリア	ハニーソフィア	矢野 源彦	上伊那
		エキナセア	パルメラ	久保田 直之	みなみ信州
審査員奨励賞	2点	スターチス一年生	フレンチピンク	清水 祐輔	信州諏訪
		クレマチス	籠口	池田 毅	みなみ信州

2024なんしんフラワーフェア 関東農政局長賞に小池潤さん（JA信州諏訪）の アルストロメリア

なんしんフラワーフェア推進協議会（構成団体／JA上伊那、JAみなみ信州／JA信州諏訪、JA全農長野中信事業所・南信事業所）は7月19日（金）と20日（土）の両日、JAみなみ信州本所のみなみちゃんホールで「2024なんしんフラワーフェア」を開催しました。

審査には長野県が生産量1位を誇るアルストロメリア、カーネーション、ダリア、トルコギキョウをはじめ、キク類、スターチス、季節商材のほおずき、エキナセア、クレマチスなど、南信地域3JA管内の生産者が丹精込めて作り上げた切り花291点が出品され、品質や栽培技術を競いました。

審査員16名が、花型・茎葉・草姿や市場性について審査し、最高賞の関東農政局長賞にJA信州諏訪の小池潤さんのアルストロメリア「ワンダースイート」が選ばれました。（※表紙右下）会場では、花きの消費拡大と産地PRを目的に、JAみなみ信州の女性部

の皆さんを対象にフラワーアレンジメント教室を開きました。参加者は南信地区で栽培されている花きについて説明を聞き、3JAの花を使用したフラワーアレンジメント作りに挑戦しました。地元の花に触れることで花き栽培についても関心を持つていただくことができました。

また、JAみなみ信州花き部会同志会とJA上伊那花き部会青年部の皆さんが作成したスタンド花を、近隣の直売所やJAファームに展示しました。店舗を訪れたお客様に高品質で美しい花を楽しんでいただくと同時に、フェアの会場へ足を運んでいただくきっかけにもなりました。



進化する農業次世代につなげよう！ 「JA農機&資材フェスタ2024」盛況

長野県農協生産資材事業推進協議会
は7月19日(金)と20日(土)の両日、長野市
のエムウエーブで25回目となる「JA

農機&資材フェスタ」を開催しました。
(Ⅱ表紙左下)

出展は、農業機械33社、肥料5社、
農薬11社、農業資材1社、包装資材4
社、生活自動車関連3社、計57社に加
え、後援である県による農作業安全
コーナーの他、JA全農長野の生産振
興や、JAファーム店、JAバンクや
JA共済、JA農産物直売等の協力も
いただき、JAグループ挙げての催し
となりました。

■スマート農業の提案

特設コーナーでは、革新的な種子処
理技術「リゾケア」を利用した新しい
直播技術、最先端の栽培管理支援シス
テム「ザルビオ」について紹介しました。
それぞれの技術に対応した担い手向け
大型直播田植機やシステム施肥連動機、
ドローンなど関連機械も展示し、多く
の来場者が訪れ関心の高さが伺われま
した。



肥料農薬ブース



ミニ講習会

■ミニ講習会コーナー

今回新たに企画したミニ講習会コー
ナーでは、肥料の基礎的な使用方法か
ら高温障害に対応した対策商品、ス
マート農業機械の取り組みから熱中症
対策まで、聞いて役立つ様々な講習を
2日間で26本開催し、600名弱が参
加しました。特に家庭菜園向けの講習

■実演コーナー

会場外では「ラジコン草刈機」「オー
トモア」の実演会を行い、延べ約
100名に体感いただきました。農作
業の中でも負担の大きい草刈作業は労
力軽減に向けた要望が強く、特に近年
ラインナップに広がりを見せる「ラジ
コン草刈機」は注目を集め、多くの意
見や質問を受けました。



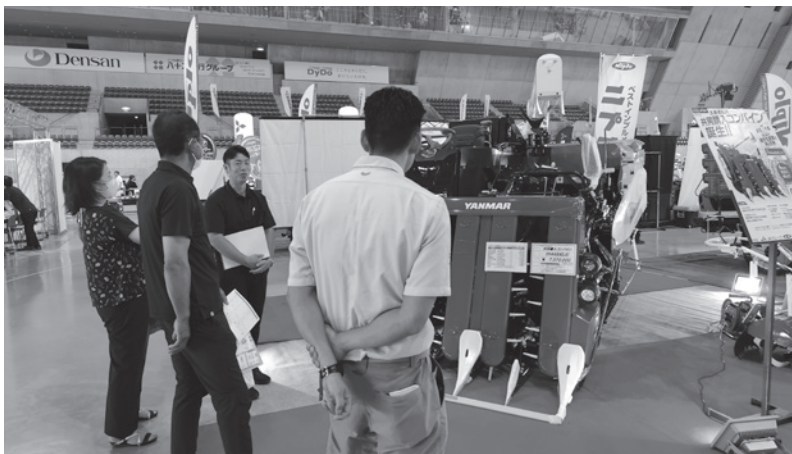
ラジコン草刈機実演会

主催者を代表し開会式で挨拶をする
JAグリーン長野の安藤猛常務



■農業情報コーナー

特設コーナーでは、「全国生産者×JA」の取り組みにより必要な機能は装備しながら概ね2割の価格引き下げを実現した共同購入コンバイン「YH448」を展示PRし、商談を進めました。農業機械コーナーでは、県域推奨型式や担い手向け高機能製品、効率性と燃費削減を実現するディスクハロー、レタス収穫機などの新製品、



共同購入コンバインの展示

自動追従運搬車や水管理システム、ドローンなどのスマート農業機械関連などが一堂に展示され、多くの来場者で賑わいました。

肥料コーナーでは、土壌診断による適正施肥の取組み、農業では担い手農家を対象に価格メリットのある担い手直送規格紹介など、各出展者が工夫を凝らしてPRし、ニーズに沿った提案を行いました。農作業安全コーナーでは、VR（バーチャルリアリティ）による事故の疑似体験などで啓発を行いました。



中古農業機械コーナー

■中古農業機械コーナー

県下JAよりトラクタ9台、コンバイン8台等、合計61台が出品されました。人気機種であるトラクタについては、公平性を担保する為、入札方式は新たに導入するなど（その他機種は成約順）、2日間で合計30台が成約となり、活況を呈しました。



スイカの試食販売

■JAグループ関連コーナー

生産振興コーナーでは、高畝整形機「ベッドマイスター」を使用した排水対策の紹介を行い、多くの生産者の目を引きました。

農産物直売コーナーでは、JA松本ハイランド産スイカの試食販売を行い「甘くておいしい」といった声を聞いたしながら550玉を超える売り上げとなるほど、終日賑わいました。

その他、信州産なめたけ進呈のスタンプラリー、キッチンカーでの充実グルメ、キッズクラフトコーナーでのグッズ作成やトイドローン体験など、家族連れで楽しめるイベントとなりました。

2日間の受付来場者5,079名（目標5,000人）、成約金額約16.12億円（目標15億円）と目標を達成し、成功裏に終わりました。

名古屋で「南佐久高原野菜フェア」

南佐久野菜協議会と中部圏信州野菜協議会は7月19日(金)、長野県名古屋事務所の協力の下、中日ビル(名古屋市中区)で「南佐久高原野菜フェア」を開催しました。

J A長野八ヶ岳、J A川上そ菜販売、J A川上物産で栽培されたレタス、サニーレタス、ズッキーニ、グリーンボール、ハクサイ、ブロッコリー、チンゲンサイを販売し、試食には「レタスの塩昆布和え」と「グリーンボールの浅漬け」を提案しました。

イベントには南佐久野菜協議会会長でJ A長野八ヶ岳の津金一成組合長、同副会長でJ A川上そ菜販売の高橋石也組合長、同副会長でJ A川上物産の油井拓也組合長と中部圏信州野菜協議会の正副会長が出席し、津金会長が集まった来場者に「南佐久高原野菜」を紹介し「夏バテ防止に向けてしっかりと野菜を食べてください」と挨拶しました。



津金会長の挨拶

南佐久高原野菜は新鮮でイベント価格ということもありどれも予想を上回る売れ行きで、予定時間前に完売となりました。試食のレシビの質問も多く、同時に行った長野興農(株)の「まるごと信州りんごジュース」「まるごと信州ももジュース」の試飲も好評でした。

会場となった中日ビルは、この春オープンした商業施設です。旧中日ビルの建て替えにより名古屋の中心

地である栄地区の新たなランドマークとして注目されている施設で、5階には長野県を含め各県事務所が入り地域の観光や物産をPRしており、今回のイベントは共有スペースである「全国センター広場」で行いました。



予想を上回る売れ行きの南佐久高原野菜

7月2日は「夏の長野県産レタスの日」 約130店舗で 宣伝会

J A全農長野野菜きのこ課と県外販売事務所は、「夏の長野県産レタスの日」制定に合わせて7月2日、東京・大阪・名古屋・福岡管内の量販店約130店舗で、レタスの宣伝会を行いました。



各店舗ではレタス売り場を拡大していただき「レタスの塩昆布和え」や「瞬間消滅レタス」などの試食を提供しながら販売し、多くのお客様の目に留まり購入につながりました。

また、大阪販売事務所はケーブルテレビとラジ

長野県内産地合同で カーネーションのPRを実施

J A 全農長野果実花き課は、6月下旬から7月中旬にかけて出荷シーズンを迎える長野県産カーネーションの3産地合同PRを行いました。県内の主産地であるJ A 信州諏訪、J A 佐久浅間、J A 松本ハイランドは年間を通じて合同の栽培講習会を実施しており、栽培技術の情報交換も行っています。

東京・大阪・名古屋販売事務所管内の仲卸や量販店、花き専門店9店舗では、産地フェアを実施しました。期間中はカーネーションの栽培から出荷までの工程がわかるパンフレットも配布し、実需者や一般消費者へ長野県産カーネーションの生産のこだわりを伝えました。

(株)大田花き、(株)名港フラワーブリッジ、(株)なにわ花いちばの3市場で実施した市場展示は、各J A おすめの合計43品種を展示し、併せて各J A のカーネーション部会長からのコメントも掲載し、買参人や市場関係者に長野県産の出荷スタートをアピールしました。



大田花きでの展示



名古屋市内の量販店の生花売場



大阪の生花仲卸店



大阪市内の花き専門店

オでCMを放送したほか、大阪市梅田のコミュニティラジオ「FMキタ」に職員が出演し、高原レタスの特徴や選び方、おいしい食べ方などを幅広く紹介しました。

全農長野は7月2日「夏の長野県産レタスの日」を、多くの皆様が長野県産レタスを召し上がるきっかけになるような取り組みを長期的に進めて参ります。

FMキタに出演し
高原レタスの選び方、
おいしい食べ方などを
幅広く紹介

豊洲市場でJAグリーン長野と JA中野市の合同トップセールス を開催

JAグリーン長野とJA中野市は8月3日(土)、東京都中央卸売市場・豊洲市場にて、出荷最盛期を迎える果実のトップセールスを合同で開催し、市場関係者や仲卸等の実需者の皆様にモモを中心に、ぶどう3姉妹、プルーン、プラムなどのPRを行いました。(II表紙上) 2JAが合同でトップセールスを行うのは初めての試みです。



JAグリーン長野の栗林和洋組合長は「長野県の果物は朝晩の寒暖差により甘さが増す。生産者が精魂込めて栽培した農産物を消費者の皆様にお届けしていただきたい」、

JA中野市の望月隆組合長は「中野市とグリーン長野はモモのリレー販売を行っている。今後もタッグを組んで美味しい果実を供給していく。今年のモモは味も抜群なので、ぜひ食べていただきお客様にご提案をお願いしたい」とそれぞれ挨拶しました。



場内では、プレゼント用にJAグリーン長野の「川中島白鳳」とJA中野市の「あかつき」を1個ずつ袋に詰めた袋を200セット用意しましたが、大変ご好評をいただき瞬く間に終了しました。

JA全農長野北信事業所は、今後も北信地区の農産物のPRを進めて参ります。

大学生協で食育ランチ

長野県の旬の農産物を知って、食べてもらいたい

JA全農長野生産販売部は、信州大学、松本大学、長野大学、長野県看護大学の各生協食堂(合計9会場)の協力を得て、年間をとおして旬の農産物や生産地へ関心を深めてもらう食育活動「信州産フェア」を実施しています。

7月23日(火)・25日(木)はパプリカ、ズッキーニ、スイカを提供し、「彩り野菜とから揚げカレー」「スイカ」が販売されました。

利用者アンケートでは、「ズッキーニやパプリカは一人暮らしでなかなか使い切れず、食べたとしても買う機会が少ないから学食で手軽に食べられてよかった」「一人暮らしをしていると、果物はなかなか高くて買いにくいのでごくうれしかったです。今日はスイカを食べるために学校に来ました」「ズッキーニっておいしいなと分かった。信州のリンゴをまだ食べたことがなくて気になる」など学生の一人暮らしならではの感想が多く寄せられました。

本年度は農産物の価値訴求や旬のPRを強化することを目的に6回計画し、今後は、10月にりんご三兄弟とこの11月に新米を予定しています。価格・量・調理の手間など青果物を購入するハードルが高い学生ですが、旬と味を知ることが将来の購入につながるように、継続して取り組んで参ります。



果実花き課からのお知らせ

第54回 信州フラワーショー サマーセレクション

長野県が全国一の生産量を誇るカーネーションやトルコギキョウ、アルストロメリアをはじめとする切花や花木、約400点を一堂に集めた品評会を開催します。

フラワーアレンジメントや花束の即売、資材等の展示のほか、品評会に出品された切花・花木類は予約販売を行います。

この機会にぜひ夏の信州で生産された美しい花々をご覧ください。



昨年の様子

開催日：令和6年9月5日(木)一般公開15:00～18:00
9月6日(金)一般公開9:00～13:00

会場：JA長野県ビル「アクティーホール」
(長野市大字南長野北石堂町1177-3)

主催：第54回信州フラワーショー運営委員会
(JA全農長野、JA全農長野花き専門委員会)

入場料：無料

予約販売：品評会に出品された切花・花木類は、一般公開中に予約を受け、9月6日(金)13:00～14:00に引き渡します。

問合せ先：JA全農長野 果実花き課 TEL 026-236-2222

野菜きのこ課からのお知らせ

長野県産野菜ときのこキャンペーン第2弾 「長野県産野菜・きのこ 秋の“飽き”ないレシピ」総選挙

長野県産野菜ときのこキャンペーン第2弾「長野県産野菜・きのこ 秋の“飽き”ないレシピ」を開催中です。

料理研究家の河瀬璃菜さんが考案した10のレシピからお好きなレシピを投票していただくと、抽選で「サンふじ5kg」を30名様、北信州こしひかり「一番開花5kg」を70名様にプレゼント！

キャンペーン期間は8月26日(月)～10月31日(木)まで。

詳しくはこちらをご覧ください。



新採用職員紹介

令和6年度の新採用職員を順次ご紹介します

南信事業所

営農資材課

はやし ちひろ
林 千尋



ジャンボ剤でしっかり防除！

はじめまして、南信事業所営農資材課の林千尋と申します。出身は伊那市です。走ることが好きで小学校から大学まで陸上競技に打ち込んでいました。ストレス解消法にもなるため今も走っています。

幼少期から畑を走り回り農業に触れてきましたが、肥料や農業についての知識はないので日々学ぶことばかりです。まだまだ至らないところばかりですが、勉強しながら精進してまいります。よろしくお願いいたします。

中信事業所

生産販売課

かみむら み ゆ
上村 美結



レタスとセロリの試食を行いました！

はじめまして、中信事業所生産販売課の上村美結と申します。出身は松本市です。特技は小学1年生から続けている書道で、趣味は御朱印集めと野球観戦です。祖父母が農業を営んでいるため、休日は早朝からリンゴの収穫、ジュース用トマトの手伝いをしています。

まだまだ分からないことばかりで勉強の毎日ですが、失敗を恐れず業務に取り組み、1日でも早く皆様のお力になれるよう精進します。よろしくお願いいたします。

中信事業所

営農資材課

てらさわ ともりの
寺澤 知典



麦の坪刈り調査を行いました！

はじめまして、中信事業所営農資材課の寺澤と申します。出身は塩尻市です。趣味は野球やゴルフなど体を動かすことや、ドライブに出掛けることです。祖父が農家だったこともあり、新鮮なレタスやとうもろこしなどを食べて育ちました。

農業に関しては、0からのスタートとなります。肥料農薬は種類も多く、その他にも覚えることがたくさんありますが、指導員さんや生産者さんからの質問に答えられるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

北信事業所

生産販売課

しみず りゅうせい
清水 隆成



信州の花の魅力を全国へ

はじめまして、北信事業所生産販売課の清水隆成と申します。出身は長野市です。休日は全農長野の野球チーム「野球野郎会」で楽しく体を動かしております。マイブームは始めたばかりのゴルフで、まっすぐ飛びませんが、ラウンドに早く出られるように練習しています。

現在は花の担当です。毎日が勉強で覚えることもまだ多くありますが、少しずつでも自分のできることを増やして、皆様のお力になれるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況

令和6年度7月末部門別実績表 (単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		4	0	0
野菜種苗センター		85	95	105
生産振興部計		89	100	110
米	穀	5,918	117	139
果実花き		6,261	128	120
野菜きのこ		23,661	99	104
営業		4,175	95	106
生産販売部計		40,015	104	111
包装資材		2,679	101	104
生産資材		3,782	105	106
農業機械		2,297	98	102
施設住宅		1,353	121	26
生産購買部計		10,111	104	75
畜産酪農		10,420	105	102
三岳牧場		96	73	95
SPF繁殖センター		87	83	93
八ヶ岳牧場		108	100	121
畜産酪農部計		10,711	105	102
燃料・ホームエネルギー		7,933	99	100
SS協同経営		2,535	107	100
生活		2,730	104	90
生活部計		13,198	101	97
長野県本部計		74,125	104	100

(内部販売高含む)

9月のテレビ・ラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
9月5日(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「ラジオカーレポート」	ナシ
9月9日(月)~13日(金) 10:40	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「フルーツキング坂橋の旬いただきます」	ナシ
9月10日(火) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「いいJAん家庭菜園」	JAファーム
9月12日(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「ラジオカーレポート」	ブルーノ
9月19日(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「ラジオカーレポート」	ブドウ
9月21日(土) 9:30	abn朝日放送	駅テレマルシェ「マル得マルシェ」	ブドウ
9月21日(土) 13:00	FM長野(TOKYO FM)	JA全農COUNTDOWN JAPAN	ブドウ
9月23日(月・振休) 9:05~13:00	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内1DAY「長野県ぶどうの日」スペシャル	ブドウ
9月25日(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「暮らしの応援団」	生活課
9月28日(土) 7:00	文化放送	ラジオのあさこ	ブドウ

今月のおすすめレシピ

長野県産野菜ときのこキャンペーン第2弾
「長野県産野菜・きのこ 秋の“飽き”ないレシピ」総選挙 対象レシピ

食べるの飽きない!
エリンギとセルリーのきんぴら



■材料 (2人分)

- ・エリンギ 3本
- ・セルリー (葉っぱごと) 1/2本
- ・ごま油 適量
- ・輪切り唐辛子 1本
- ・白炒りごま 適量

【A】

- ・酒 大さじ2
- ・醤油 大さじ1
- ・砂糖 大さじ1/2

■作り方

- ① エリンギは横半分に切ったら、細切りにする。セルリーは筋をとり、細切りにする。
- ② 中火で熱したフライパンにごま油をひき、エリンギとセルリーを炒めたら、Aを加え水分が飛ぶまで煮詰める。
- ③ ②に輪切り唐辛子と白炒りごまを混ぜ合わせたら、器に盛る。

ワンポイントアドバイス
* エリンギとセルリーはなるべく同じ太さに切ることで食べた時に一体感が生まれます。

グリーンリーダー
X(旧ツイッター)
はこちら



グリーンリーダー
WEB版はこちら



編集後記

8月11日に閉幕したパリ・オリンピックは日本人選手の活躍が嬉しく、感動もいたしました。

一方、国内では8月8日に宮崎県で震度6弱の揺れを観測し南海トラフ地震臨時情報が発表され、さらには北日本各地での記録的な豪雨被害が発生するなど自然災害が続きました。収穫の秋に影響がないことを祈るばかりです。

さて、今月は生成AI(人工知能)について、本会の状況も含めながらお伝えします。

生成AIブームのきっかけとなった対話型AI「Chat GPT」を米オープンAIが2022年11月30日に公開して以降、様々な生成AIが誕生し日々進化を続けています。生成AIの企業活用においては、外部の生成AIに蓄積・学習(ディープラーニング)した情報の漏洩リスクが否めないため、各企業独自の生成AIプラットフォームの開発、もしくはセキュリティ確保がされた生成AIプラットフォームの活用を行う潮流にあります。本会も全農版生成AIプラットフォーム(ZGAP)を開発中であり、現在は試用実践期間の段階にあります。

そんな中、4月1日から日本農業新聞がJパートナーズのサービスとして「日農AI金次郎」の展開を開始し県下JAでも活用し始めています。生成AIは業務効率化やクリエイティブな作業のサポートにおいて有効なツールと期待され、系統事業活動においても、今後はかなり早い段階で身近なものになると考えられます。

(一)

第54回 信州フラワーショー サマーセレクション

入場無料

とき 2024年9月5日 木 一般公開 15:00～18:00
9月6日 金 一般公開 9:00～13:00
ところ JA長野県ビル・アクティーホール



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

